

平成25年度 (一社)栃木県建設業協会栃木県中央部北地域支部と 宇都宮国道事務所との意見交換会 〈議事要旨〉

平成26年3月5日(水)、栃木県建設産業会館の会議室において、(一社)栃木県建設業協会栃木県中央部北地域支部((一社)宇都宮建設業協会、塩谷支部、那須支部)と、宇都宮国道事務所との意見交換会を開催しました。

建設業協会支部からは、各副支部長をはじめとして11名が、また、宇都宮国道事務所からは、副所長をはじめとして6名が出席しました。(出席者名簿は別紙参照)

意見交換に先立ち、協会側、事務所側から以下の挨拶がありました。

【 挨拶 】

○栃木県建設業協会塩谷支部 齋藤副支部長の挨拶

- ・資材価格や労務単価など建設業界には様々な課題があり、有意義な意見交換会としたい。

○宇都宮国道事務所 梶原副所長の挨拶

- ・日頃、皆さんが抱えている現場での悩みや国への要望などについて、忌憚ない意見交換をお願いしたい。



(一社)栃木県建設業協会 塩谷支部
齋藤副支部長の挨拶



国土交通省 宇都宮国道事務所
梶原副所長の挨拶

【 意見交換 】

協会支部との意見交換の内容は、以下のとおりです。

○支部からの主な意見

- ・ 価格以外の評価点が低い地元企業にも優秀な業者はいるので、受注できる機会を作って欲しい。
- ・ 当初設計箇所から離れた施工箇所が追加となった場合の経費の考え方を説明して欲しい。
- ・ 自治体からの雪かきや重機の要請は、災害活動実績に入るのか。
- ・ 県の施工実績を評価する工事を再度、発注するよう検討して欲しい。
- ・ 労務単価は上昇しているが、歩掛かり上がらないとなかなか難しい。是非、歩掛かりも見直しして欲しい。

○これに対して事務所からは、以下のように応えています。

- ・ 工事発注は、総合評価落札方式を採用しており、昨年8月からは二極化を全面施行しているため、地元企業の受注機会は、以前より改善されていると思慮する。
- ・ 当初設計箇所から離れた施工箇所が追加となり、必要以上の経費が掛かる場合は、設計変更審査会等の場を用いて、経費の計上の有無についても、受発注者間で協議して参りたい。
- ・ 地域密着工事型を採用した工事では、直轄に限らず地方公共団体の災害実績も災害協定に基づく災害活動であれば、実績として加点評価している。
- ・ 県の施工実績を評価する工事の発注や歩掛かりの見直しについては、上部機関に伝えたい。

最後に、今後も継続的に意見交換の場を設けていくとともに、随時コミュニケーションを図っていくことを双方確認しました。

平成25年度 (一社)栃木県建設業協会栃木県中央部・北部地域支部と
宇都宮国道事務所との意見交換会 出席者名簿

日 時:平成26年3月5日(水) 14:00~16:00

場 所:栃木県建設産業会館 3階会議室

所 属		役 職	氏 名	備 考
(一社)宇都宮建設業協会		(株)菊地組 代表取締役	菊池 三紀男	副会長
		(株)野澤實業 代表取締役	野澤 充広	建設委員長
		(株)増渕組 土木本部 本部長	青山 雅美	
		(株)増渕組 営業本部 本部長	出口 功	
		渡辺建設(株) 土木部長	菊地 啓二	
(一社)栃木県建設業協会	塩谷支部	船生建設(株) 代表取締役	斎藤 祐一	副支部長
		(株)渡辺工務店 代表取締役	渡邊 武男	理事
		東昭建設(株) 常務取締役	坂井 則夫	
		(株)浜屋組 取締役工事本部長	阿久津 正義	
		佐藤建設工業(株) 代表取締役社長	佐藤 俊之	監事
	那須支部	桜岡建設(株) 代表取締役	桜岡 増実	副支部長
		(株)生駒組 代表取締役	生駒 憲一	理事(広報委員長)
宇都宮国道事務所		(技) 副所長	梶原 竹生	
		工事品質管理官	鹿島 秀昭	
		工務課長	高橋 進	
		管理第二課長	小笠原 久	
		品質確保課長	坂本 崇	
		計画課 企画係長	白取三樹男	

欠席

(敬称略)